



血液や排せつ物で汚れてしまった服などを洗淨する部屋です。

ウィルスや菌が繁殖しやすい環境なので、居住空間に持ち込まぬようマットを敷いています。

各ユニットをはじめ、施設内の各所には、このような感染処理キットが設置されています。

ノロ・ロタウィルス感染者が嘔吐した際に迅速に対処し、感染拡大を防ぐための七つ道具です。



施設内の感染予防体制について、生活健康委員会からご紹介します。

集団生活を送る上で避けられないのが「集団感染」のリスクです。他者が触ったドアノブ、くしゃみや咳、使用したトイレなど、感染源は身近に数多く潜んでいます。

生活健康委員会では、施設内の職員向けの感染症予防の啓発講座を、インフルエンザやノロ/ロタウィルスが流行しがちな秋冬に複数回実施し、また施設内に啓発ポスターを掲示するなどして警鐘を鳴らし続けてきました。

職員の感染予防意識の向上のみならず、上の写真でお示していますように、感染予防のための具体的かつ効果的な実践を重ねています。

その甲斐あってか、今年は利用者の皆様、そして職員一同インフルエンザなどの重篤な感染症に罹患した方は0人を維持しています(2月時点)。